

平成16年12月 検定試験

[No.20] 電子制御式4速ATのセンサ、アクチュエータの異常検知に関する記述として、**不適切なもの**は次のうちどれか。

図1

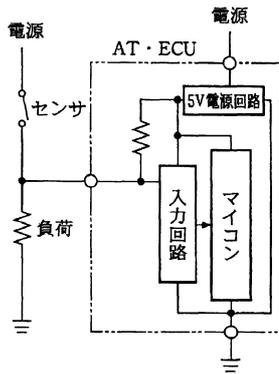


図2

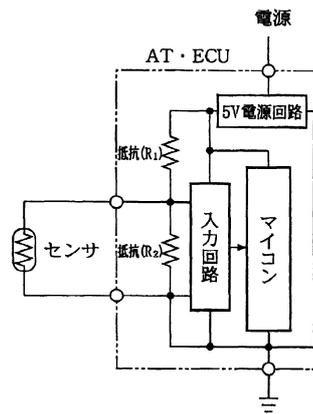


図3

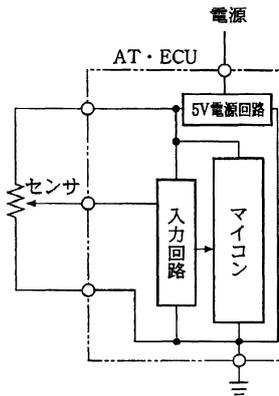
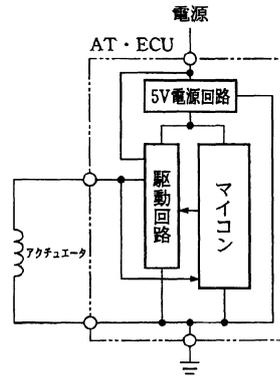


図4



- (1) 図1のセンサの異常検知は、異常を比較検知する別のセンサで判断が必要であり、単独での異常検知は不可能である。
- (2) 図2のセンサの異常検知は、信号電圧が基準電圧になったときや電圧が発生しなくなった場合に限られる。
- (3) 図3のセンサの異常検知は、信号電圧が基準電圧付近で変化しなくなったとき、電圧が発生しなくなったときに行なわれ、信号電圧が一定の値に固定したときの異常検知は不可能である。
- (4) 図4のアクチュエータの異常検知は、駆動回路に出力した駆動情報と、駆動回路とコイル間に発生した信号電圧の論理に不一致が発生した場合、及びパルス電圧が発生しなくなった場合に行なわれる。